

# TOSHIBA

## 東芝換気扇（有圧形） 取扱説明書

形 名

VP-254SK（単相100V）

VP-304SK（単相100V）

VP-414SK（単相100V）

VP-406SK（単相100V）

VP-254TK（三相200V）

VP-304TK（三相200V）

VP-414TK（三相200V）

VP-424TK（三相200V）

VP-444TK（三相200V）

VP-406TK（三相200V）

VP-416TK（三相200V）

VP-544TK（三相200V）

VP-574TK（三相200V）

VP-526TK（三相200V）

VP-526TK1（三相200V）

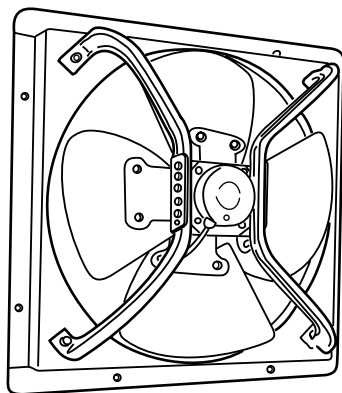
VP-546TK（三相200V）

VP-546TK1（三相200V）

VP-646TK（三相200V）

VP-646TK1（三相200V）

VP-676TK（三相200V）



### も く じ

安全上のご注意	1～2
各部のなまえ	3
取付場所	4
取り付けかた	4
つぎのことは必ず守ってください	5～6
使いかた	7～8
お手入れのしかた	9
仕 様	9～10
修理を依頼される前に	11
ご不明な点や修理に関するご相談は	11



このたびは東芝換気扇をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を、安全に正しく使っていただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。



# 安全上のご注意

ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。  
表示と意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、 物的損害の発生が想定される内容を示します。

物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

## 図記号の例

図記号	図記号の意味
 改造禁止	⊙は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊙の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「改造禁止」を示します。
 電源を切る	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「電源を切る」を示します。

## 警告

改造はしないこと  
火災・感電・けがの原因になります。



改造禁止

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に取り付ける場合、外枠とメタルラス、ワイヤラス金属板とが電氣的に接触しないように取り付けること  
火災・感電の原因になります。



取付注意

内釜式風呂を設置した浴室がある場合は使用しないこと  
排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。



使用禁止

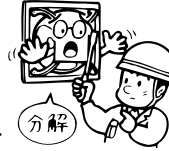
アースを確実に取り付けること  
故障や漏電により感電の原因になります。  
アースの取り付けは販売店・電気工事店にご相談ください。



アースを接続する

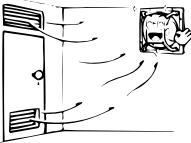
修理技術者以外の人は分解、修理（ ）をしないこと

火災・感電・けがの原因になります。  
修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。



分解・修理禁止

自然排気型のストーブをご使用のときは、空気の取入口により十分給気される配慮をすること  
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。



給気注意

## ⚠ 警告

お手入れのときは運転を停止し電源ブレーカーを「切」にすること  
差込みプラグ付き機種は差込みプラグを抜くこと  
感電・けがの原因になります。



電源を切る

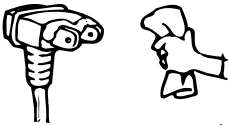
電気部品は水につけたり水をかけたりしないこと  
火災・感電の原因になります。



水かけ禁止

差込みプラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと（差込みプラグ付の場合）

火災の原因になります。



ほこりをとる

ガス漏れのときは、換気扇のスイッチを入れたり切ったりしないこと  
ガス爆発の原因になります。



入り切り禁止

定格電圧以外で使用しないこと  
火災・感電の原因になります。



使用禁止

## ⚠ 注意

本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実にすること

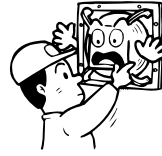
落下によりけがの原因になります。



取付注意

運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れないこと

けがの原因になります。



接触禁止

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに先端の差込みプラグを持って引き抜くこと（差込みプラグ付の場合）

コードに傷がつき、火災・感電の原因になります。



プラグを持って抜く

電気工事は必ず電気工事店に依頼すること  
電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行うこと

誤った電気工事は火災・感電の原因になります。



取付注意

浴室で使用する場合、浴室内に壁スイッチを設けないこと

火災・感電の原因になります。



取付禁止

長期間ご使用にならないときは、差込みプラグをコンセントから抜くこと  
絶縁劣化による火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

お手入れや取り付けのときはゴム手袋を着用すること  
手袋を着用しないときが原因になります。



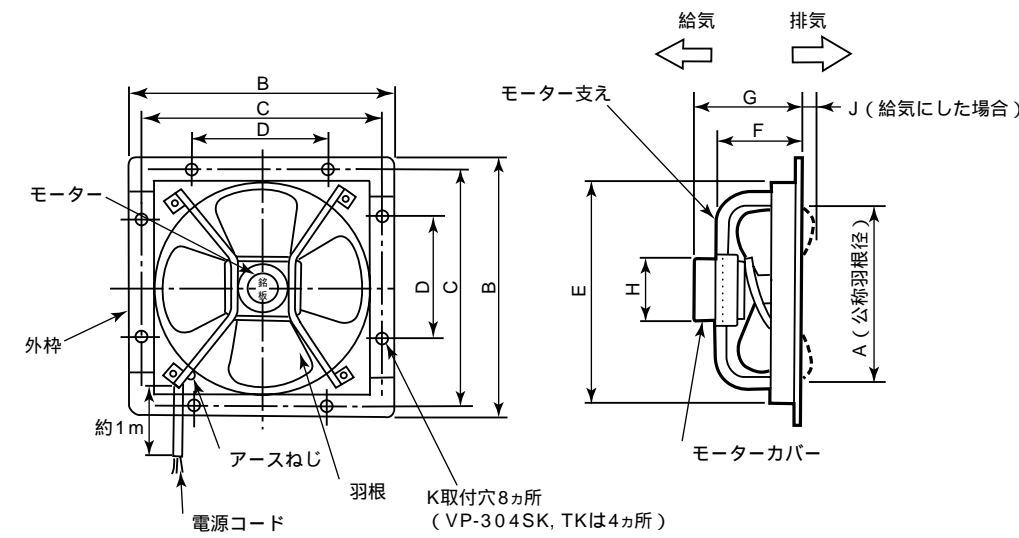
手袋着用

羽根などの部品は確実に取り付けること  
落下により、けがの原因になります。



確実に取り付ける

# 各部のなまえ



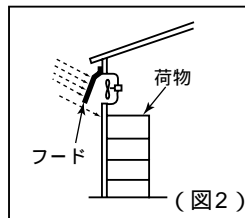
（製品は排気状態で包装されています。  
製品の定格・形名は銘板をご参照ください。）

（図1）

形 名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	取付枠 寸法
VP-254SK	250	358	336	165	292	152	202	105	30	10	305
VP-254TK							178	103.5			
VP-304SK	300	410	380	380	342	161.5	216	105	11	13	355
VP-304TK							193	103.5			
VP-414SK	400	514	485	280	446	200	273	141	41		455
VP-406SK									30		
VP-414TK									48		
VP-424TK									41		
VP-444TK							234	139	48		
VP-406TK									30		
VP-416TK									41		
VP-544TK											
VP-574TK	500	635	600	340	546	248	268	139	33		555
VP-526TK									36		
VP-526TK <sub>1</sub>								139	39		
VP-546TK											
VP-546TK <sub>1</sub>											
VP-646TK								600	734		
VP-646TK <sub>1</sub>											
VP-676TK		46									

# 取付場所

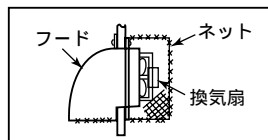
- 1 効率よく換気するため、煙・悪臭などが発生するところでは、発生源の天井の近くに取り付けてください。  
また換気扇と反対側の位置に換気扇と同じ大きさ以上の空気の取入口を設けてください。
- 2 換気扇に直接風雨のあたるところには別売のシャッターをつけるか、またはフードをブリキ板などで作って取り付けてください。(図2)



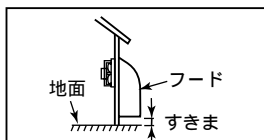
## お願い

換気扇は使用限界静圧以内(9, 10頁の「仕様」参照)でお使いください。換気扇を使用限界静圧以上の条件で使用されますと、モーターに過度の負担がかかりモーターが焼損したり寿命が短くなりますので、東芝業務用換気扇カタログ、技術資料をご覧ください。使用される場所の給・排気口やダクト・フードの形状を設計し、圧力損失を求め、必ず使用限界静圧以内でご使用ください。

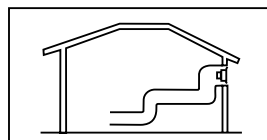
下記のような使いかたは、風の流れの抵抗をいちじるしく高め、モーターに必要以上の負荷がかかりますのでおやめください。



目の細かいネットを換気の通路に使用する場合。



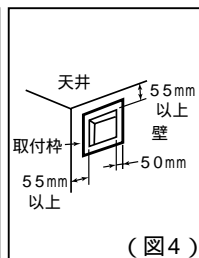
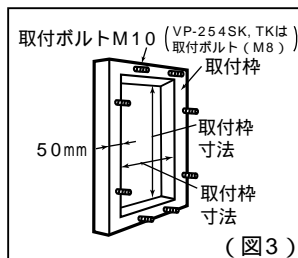
空気の取入口(または吐出口)が極端にせまい場合。  
上図のような場合のすきまは1m以上にしてください。



空気の取入口の無い密閉された場所、および幾度も曲がったダクトや、細くて長いダクトを使用し、使用限界静圧を超える場合。

# 取り付けかた

- 1 取付枠を(図3)のように作ってください。
- 2 取付枠の外形寸法に合わせ壁に穴を開けてください。このとき、天井や壁からの距離にご注意ください。(図4)
- 3 取付枠を壁にしっかり埋め込んでください。
- 4 取付枠に換気扇を確実に固定してください。
- 5 羽根を手で軽く回して異常がないか確認してください。
- 6 適用電源をご確認の上、電源に接続してください。
- 7 羽根の回転方向が、羽根の矢印方向に合っているか確認してください。



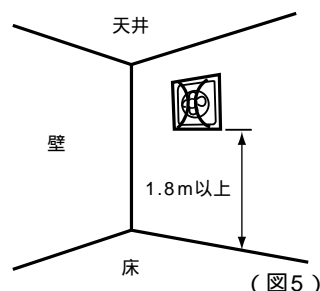
## お願い

取付枠は 3頁の取付枠寸法 に合わせ、製品質量に十分耐える材料で作ってください。  
取付枠と壁の固定が不十分ですと、製品がはずれて落下したり、騒音の原因となりますからご注意ください。

# つぎのことは必ず守ってください

## 取付場所

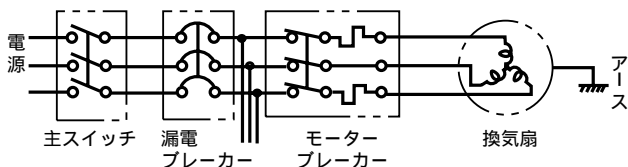
- 1 屋外のように換気扇に直接雨水などがかかる場所、およびいちじるしく湿度の高い場所には取り付けないでください。  
漏電（感電）の原因となります。
- 2 爆発性の粉塵やガスの発生する場所、および腐蝕性ガスの発生する場所には取り付けないでください。  
火災・爆発などの原因となります。
- 3 換気扇付近の温度が60℃以上になる場所、および-20℃以下の場所には取り付けないでください。  
モーターが焼損したり、起動しないなどの事故の原因になります。なお単相100V用のVP-254SK, VP-304SK, VP-406SK, VP-414SKは0℃以下で使用しますと、通常回転に上がるまでに約2～5分程かかりますが、故障ではありません。  
(運転時の基準周囲温度は40℃です。)
- 4 換気扇は手が届かないように、床より1.8m以上離して取り付けてください。(図5)  
やむをえず低い位置に取り付ける場合は、必ず金網などで保護してください。このとき、目の細かい金網を付けないでください。空気抵抗が増し、モーターに過度な負荷がかかり、寿命を短くします。
- 5 同じ部屋に給気と排気の換気扇を取り付ける場合は、給気風量と排気風量とが同程度になるように配慮ください。  
いちじるしく相違するとモーターに過度の負荷がかかり、寿命を短くします。



## 取付工事のとき

- 1 取付部の強度を確かめてください。  
取付部の強度が弱いと落下することがあり危険です。
- 2 外枠をコンクリートなどに直接埋め込まないでください。  
音・振動・羽根の破損などの原因となることがあります。
- 3 運搬作業や取付時に羽根などを変形させないように、取り扱いには十分注意してください。  
音・振動・羽根の破損などの原因になります。
- 4 配線工事などの電気工事は、電気設備に関する技術基準および電力会社の工事指定に従ってください。

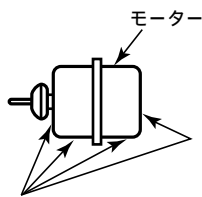
- 5 三相モーターを欠相運転しますと焼損しますので、欠相運転にならないようにご注意ください。(図6)  
(欠相はプラグ、スイッチなどの不完全な接続および、ヒューズ使用時一相のみ溶断した場合などに起こります。)



(図6)

漏電ブレーカー、モーターブレーカーなどは容量が合ったものを使用してください。

- 6 換気扇は、上・下・横向き、どの方向にも使用できますが、水抜きキャップ(図7)のいずれかが下側になるように取り付けてください。湿度の高い所でのご使用の際は下側になった水抜きキャップをドライバーかラジオペンチなどの工具により、必ずはずしてください。



(図7)

漏電(感電)の原因となります。

ただし、鶏舎などのほこりの多い場所で使用するときには水抜きキャップをはずさないでください。

- 7 モーター支えについているアースねじ(図1)から必ずアースを確実に取り付けてください。特に湿気の多い場所で使用するときには、漏電ブレーカーを設置してください。

不完全のまま使用しますと、万一の場合、感電の恐れがあります。

- 8 換気扇を9, 10頁の「仕様」と異なる状態で使用しないでください。
- 9 VP-526TK1, VP-546TK1, VP-646TK1を位相制御される場合は、東芝換気扇自動制御装置以外の制御装置を使用しないでください。

## ご使用中

- 1 正転逆転のくり返し運転はしないでください。  
モーターや羽根などが破損の原因となります。

## お手入れのとき

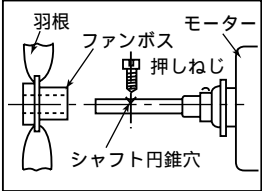
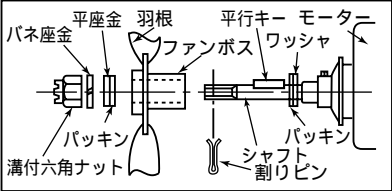
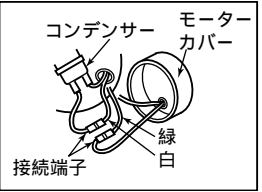
- 1 羽根にゴミ・油・氷などがつきますと、羽根のバランスがくずれ破損の原因になり大変危険です。羽根を変形させないように注意して取り除いてください。
- 2 異常な振動や音、ボルト類のゆるみ、および風の通路に取り付けた金網などの目詰まりがないか定期的に点検してください。  
破損・落下・モーター焼損などの原因となります。

# 使いかた

## 排気運転するには

この換気扇は排気運転するように組み立てて包装されていますので、羽根の回転方向が羽根の矢印方向と同じであることを確認して使用してください。

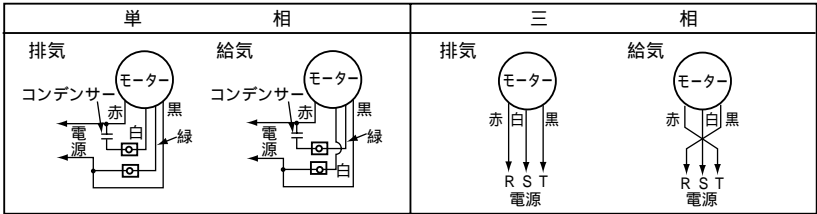
## 給気運転するには

No.	手 順	内 容
1	羽根を裏返しに付けかえる。  (このとき(図1)のJ寸法のように、羽根面が外枠面より外に出ますので、羽根を変形させないように特にご注意ください。)	<p>ファンボスの向きが下図のようになるように羽根を取り付けてください。ピン・ねじ類を紛失しないようにご注意ください。</p> <p>【押しねじの場合】</p>  <p>..... VP-254SK ..... VP-254TK ..... ..... VP-304SK .....</p> <p>【キーの場合】</p>  <p>VP-444TK VP-546TK (組立時使用するため変形、紛失にご注意ください。) VP-544TK VP-546TK1 VP-574TK VP-646TK VP-526TK VP-646TK1 VP-526TK1 VP-676TK ワッシャおよびバックリンはVP-526TK1, VP-546TK1, VP-646TK1以外ついておりません。</p>
2	モータの回転を逆にする。	<p>【単相用】</p> <p>モーターカバーを取りはずし、緑と白のリード線接続端子を差し換えてください。</p>  <p>【三相用】</p> <p>電源コードの3本のリード線のうち2本を入れ換えてください。</p>
3	試運転をする。	異常な音・振動等がないかどうか、また羽根の回転方向が羽根の矢印方向と合っているか確認してください。

東芝換気扇自動制御装置を使用されるときは  
東芝換気扇自動制御装置の取扱説明書をよく読んで使用してください。  
(VP-526TK1, VP-546TK1, VP-646TK1以外の換気扇は自動制御装置と組み合わせて使用できません。)

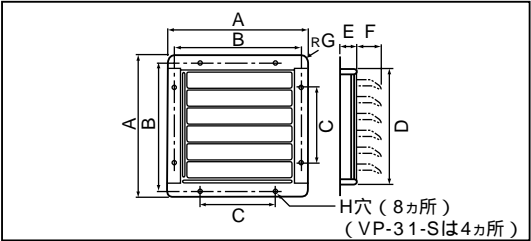


結線図



シャッターの活用法

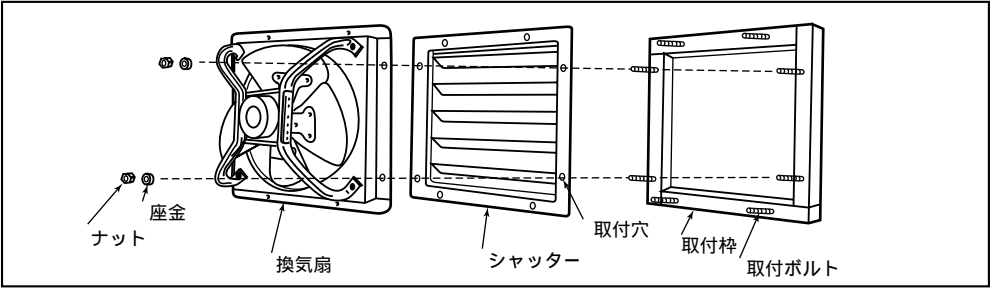
風雨・ネズミ・害虫の侵入防止にはシャッター（別売）をご使用ください。風圧自動式換気扇として有効に活用していただけます。



形 名	換気扇	A	B	C	D	E	F	G	H	取付ボルトナット
VP-25-S	25cm用	358	336	165	292	61	44	R20	10	M8
VP-31-S	30cm用	410	380	380	340	54	70	R10	11	M10
VP-41-S	40cm用	518	485	280	444	55	33	R30	11	
VP-51-S	50cm用	636	600	340	544	75	48	R20	14	
VP-61-S	60cm用	736	700	400	644	75	52	R20	14	

シャッターと換気扇を組み合わせて取り付ける場合は、つぎの要領で取り付けます。

1. シャッターを取付枠の取付ボルトに通します。
2. さらに換気扇本体をシャッター同様、取付ボルトに通します。
3. 座金を取付ボルトに通し、ナットで確実に締め付けてください。



お願い

シャッターは換気扇本体に直付けして垂直に取り付けてください。  
またシャッターは排気専用です。  
風量調節する場合は、シャッターを取り付けしないでください。

# お手入れのしかた

- 1 電源スイッチを確実に切ってください。  
(コンセントから差し込みプラグを抜いてください。このとき、羽根の回転が完全に止まるのを確かめてください。)
- 2 掃除は洗剤を浸した柔らかい布で汚れを落としてから、洗剤が残らないようによくふきとってください。特に換気扇は油煙やほこりなど汚れがひどくなりがちですから、あまり汚れが目立たないうちにお手入れをしてください。
- 3 羽根の掃除は7頁「使いかた」の手順で羽根をはずし、おふきください。  
組立は元通りシャフトに羽根を挿入し(羽根の方向に注意してください。)押しねじの場合は押しねじをシャフトの円錐穴に合わせ、十分締め付けてください。キーの場合は平座金・バネ座金・溝付六角ナットで十分締め付けて、割りピンを溝付六角ナットの溝に通してから確実に開けてください。  
ただし、VP-526TK1, VP-546TK1, VP-646TK1の場合は平座金とパッキンが一体になっていますので取付時パッキンがファンボス側になるように注意してください。
- 4 お手入れが終わりましたら、異常な振動や音がないことをたしかめてからご使用ください。  
(7頁の「使いかた」の欄を参照してください。)

## お願い

塗装面の掃除には、シンナー、ベンジン、灯油、ベンゾールなどを使用しないでください。

# 仕様

形 名	電圧 (V)	極数 (P)	排気 給気	周波数 (Hz)	電流 (A)	起動 電流 (A)	回転数 (r.p.m)	消費 電力 (W)	風量 (m <sup>3</sup> /min)	使用限界 静圧 (Pa)	騒音 (dB)	質量 (kg)
VP-254SK	単相 100	4	排気	50	0.6	1.3	1400	46	17.5	73.5	40	4.2
				60	0.6	1.2	1620	51	20.5	78.4	44	
			給気	50	0.6	1.3	1400	46	17	73.5	42	
				60	0.6	1.2	1620	51	19.5	78.4	46	
VP-254TK	三相 200	4	排気	50	0.24	0.6	1410	51	18	83.3	39	4.1
				60	0.23	0.6	1630	51	21	88.2	44	
			給気	50	0.23	0.6	1410	51	17.5	78.4	42	
				60	0.22	0.6	1630	51	20	83.3	47	
VP-304SK	単相 100	4	排気	50	1.1	2.9	1415	71	29	108.8	44	5.5
				60	1.1	2.6	1650	91	33	95.1	47	
			給気	50	1.1	2.9	1415	71	29	115.6	47	
				60	1.1	2.6	1650	91	33	87.2	49	
VP-304TK	三相 200	4	排気	50	0.39	1.1	1410	65	28	107.8	43	5.3
				60	0.38	1.1	1625	80	33	120.5	46	
			給気	50	0.39	1.1	1410	65	28	126.4	46	
				60	0.38	1.1	1625	80	32	74.5	49	
VP-414SK	単相 100	4	排気	50	2.0	7.8	1460	130	53.5	198.9	50	14.5
				60	2.1	7.2	1720	175	62	176.4	54	
			給気	50	1.9	7.8	1460	110	53.5	198.9	52.5	
				60	1.9	7.2	1720	150	62	133.3	57.5	
VP-406SK	単相 100	6	排気	50	1.2	4.7	980	81	43.5	109.8	42.5	15.0
				60	1.1	4.3	1160	97	51	135.2	46	
			給気	50	1.1	4.7	980	70	43.5	109.8	47	
				60	1.0	4.3	1160	90	51	135.2	51	

形 名	電圧 (V)	極数 (P)	排気 給気	周波数 (Hz)	電流 (A)	起動 電流 (A)	回転数 (r.p.m)	消費 電力 (W)	風量 (m³/min)	使用限界 静圧 (Pa)	騒音 (dB)	質量 (kg)
VP-414TK	三相 200	4	排気	50	0.64	3.4	1450	130	53	214.6	50	12.8
				60	0.65	3.2	1710	170	62	215.6	53	
			給気	50	0.63	3.4	1450	115	53	214.6	54	
				60	0.61	3.2	1710	155	62	178.4	57	
VP-424TK	三相 200	4	排気	50	0.98	6.2	1470	170	64	244	53	13.6
				60	1.01	5.7	1720	240	75	303.8	57	
			給気	50	0.97	6.2	1470	160	64	244.0	56	
				60	0.95	5.7	1720	215	75	221.5	61	
VP-444TK	三相 200	4	排気	50	1.6	12.4	1440	350	87.5	259.7	58	16.2
				60	1.9	11.3	1710	515	102	254.8	59	
			給気	50	1.6	12.4	1440	340	82	284.2	60	
				60	1.9	11.3	1710	500	95.5	176.4	64	
VP-406TK	三相 200	6	排気	50	0.51	1.4	965	101	42.5	102.9	46	12.6
				60	0.49	1.3	1135	120	49.5	84.3	47	
			給気	50	0.51	1.4	965	95	42.5	102.9	47	
				60	0.47	1.3	1135	105	49.5	87.2	50	
VP-416TK	三相 200	6	排気	50	0.77	2.7	950	145	59	112.7	48.5	13.2
				60	0.78	2.4	1115	190	68	134.3	53	
			給気	50	0.77	2.7	950	145	59	112.7	51	
				60	0.78	2.4	1115	190	68	124.5	55	
VP-544TK	三相 200	4	排気	50	1.6	12.4	1435	370	114	290.1	57	19.5
				60	1.9	12.1	1680	550	133	249.9	62	
			給気	50	1.6	12.4	1440	360	114	259.7	65	
				60	2.0	12.1	1690	530	133	220.5	69	
VP-574TK	三相 200	4	排気	50	2.2	15.5	1445	480	133	317.5	60	22.5
				60	2.7	15.9	1710	750	154	264.6	64	
			給気	50	2.2	15.5	1450	460	130	274.4	67	
				60	2.5	15.9	1720	700	150	243	71	
VP-526TK VP-526TK1	三相 200	6	排気	50	1.1	4.7	965	197	91	139.2	50	18.5
				60	1.1	4.4	1120	265	105	159.7	53	
			給気	50	1.1	4.7	970	190	88	155.8	55	
				60	1.1	4.4	1120	260	102	132.3	59	
VP-546TK VP-546TK1	三相 200	6	排気	50	1.7	7.1	960	305	105	152.9	53	20.0
				60	1.7	8.0	1120	420	125	199.9	57	
			給気	50	1.7	7.1	960	305	103	177.4	59	
				60	1.7	8.0	1120	420	120	151.9	63	
VP-646TK VP-646TK1	三相 200	6	排気	50	1.6	7.3	960	301	134	174.4	55	22.2
				60	1.5	6.7	1110	400	154	171.5	59	
			給気	50	1.6	7.3	960	301	134	132.3	58	
				60	1.5	6.7	1110	400	154	117.6	63	
VP-676TK	三相 200	6	排気	50	2.2	12.2	967	420	155	198.9	57	26.4
				60	2.3	11.4	1130	620	180	208.7	61	
			給気	50	2.2	12.2	967	420	155	141.1	62	
				60	2.3	11.4	1130	620	180	124.5	66	

電流・回転数・消費電力・風量・騒音は静圧0Pa時の特性値です。

風量の測定はJIS C9603に準ずる。

騒音の値は1.5m離れた地点の3点平均値です。

VP-416TK, VP-526TK, VP-546TK, VP-646TKは40V～200Vの範囲で電圧制御（スライダック制御）による風量調節ができます。

VP-526TK1, VP-546TK1, VP-646TK1は電圧制御（スライダック制御）および東芝換気扇自動制御装置による位相制御ができます。位相制御した場合、高調波によりモーターから若干電磁音が出る場合がありますが、モーターが焼損したり、モータの寿命が短くなったりすることはありません。

# 修理を依頼される前に

下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現 象	点 検
スイッチを入れても羽根が回転しない。	ブレーカーが、切れていませんか。 停電ではありませんか。
運転中に異常音や振動がする。	換気扇が、確実に取り付いていますか。 羽根が確実に取り付いていますか。

上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。（有料）  
ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談ください。**

販売店に修理のご相談ができない場合

**東芝家電修理ご相談センター**

フリーダイヤル  
**0120-1048-41**

携帯電話・PHSからのご利用は  
東日本地区（北海道、東北、関東、  
甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220  
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

・「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。  
・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。  
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

電話で **24時間**  
**365日** お応えします

お買い物、お取り扱いのご相談

**東芝家電ご相談センター**

フリーダイヤル  
**0120-1048-86**

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048  
FAX 03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）

**修理を依頼されるときは**

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。

**ご連絡していただきたい内容**

品 名	換気扇（有圧形）
形 名	
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問希望日	
便 利 メ モ	お買上げ店名 ☎（ ） -


**出張修理**

**修理料金の仕組み**

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。
出 張 料	商品のある場所へ、技術者を派遣する料金です。

**補修用性能部品の保有期間**

換気扇の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



愛情点検

**長年ご使用の換気扇の点検を！**

ご使用の際 このようなことは ありませんか。	スイッチを入れても羽根が回転しない。 運転中に異常音や振動がする。 回転が遅い、または不規則。 こげ臭いにおいがする。	故障や、事故防止のため、電源を切って必ず販売店・工店にご連絡ください。 点検、修理に要する費用は販売店・工店にご相談ください。
------------------------------	--	--